



モーニングスター株式会社 主催

個人投資家向け合同IR説明会



日本光電工業株式会社

(証券コード：6849)

2012年3月13日

執行役員 経営企画室長 広瀬 文男

本日の内容

1 事業概要

2 長期ビジョンと中期経営計画

3 今後の成長戦略

1 事業概要

会社概要

会社名	日本光電工業株式会社　〔日本光電グループ32社〕
	呼称：日本光電
設立	1951年8月
本社	東京都新宿区西落合1-31-4
資本金	75億4,400万円　（2011年3月31日現在）
売上高	連結1,133億円　（2011年3月期）
従業員数	連結3,776名　（2011年3月31日現在）
生産拠点	群馬県、埼玉県、 中国、イタリア、インド

発行済株式総数：	45,765千株
時価総額：	953億円　（2012年2月29日　株価 2,084円）
単元株式数：	100株
証券コード：	6849　（東証1部）

グループ体制 ～開発・生産・販売拠点～

国内

【販売拠点】

日本光電北海道
日本光電東北
日本光電東関東
日本光電北関東
日本光電東京
日本光電南関東
日本光電中部
日本光電関西
日本光電中四国
日本光電九州

【生産拠点】

日本光電富岡

【開発拠点】

ベネフィックス
日本バイオテスト研究所

【サービス拠点】

日本光電サービス

営業所数 : 120ヶ所
サービス拠点数 : 62ヶ所

海外

【欧州】

日本光電ヨーロッパ
日本光電フランス
日本光電イベリア
日本光電イタリア
日本光電UK
日本光電フィレンツェ

【米州】

日本光電アメリカ
NKUSラボ
ニューロトロニクス
日本光電ブラジル

【アジア州】

日本光電貿易(上海)
上海光電医用電子儀器
メイネット光電医療軟件(上海)
日本光電シンガポール
日本光電コリア
スパン日本光電ダイアグノスティクス
日本光電インド

●: 開発拠点
■: 生産拠点
●: 販売拠点



経営理念



**病魔の克服と健康増進に
先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に
社員の豊かな生活を創造する**

創業時から受け継ぐ想い



創業者
医学博士 荻野義夫

「一人の医者が救える命には限りがある。
しかし、医療機器なら、それを世界中に
広めることで限りない人々に貢献できる。」



わずか12名で発足

「『これは私達が開発したんだ』
と世界に向かって大きな声で言える
ような機器を1つでも多く。」

「本当のユーザーは医師の向こう
側にある患者さんである。
患者さんに優しい機器を。」

“技術の日本光電”①

脳波計の世界トップメーカー

1951年

世界初



全交流
直記式
脳波装置

1979年

世界初



マイコン
脳波計

2005年~2011年

米国クリーブランドクリニック※で
様々な脳波システムを受注



※ 世界中の研修医を受け入れる
米国トップクラスの病院

脳波検査・・・てんかん、脳腫瘍、けがによる脳障害（脳挫傷）、睡眠障害などを診断

“技術の日本光電”②

当社の主力技術「センサ技術」

「患者さんに苦痛や負担を与えない」「より早く」「より正確な」生体情報（バイタルサイン）の計測を目指して開発しています

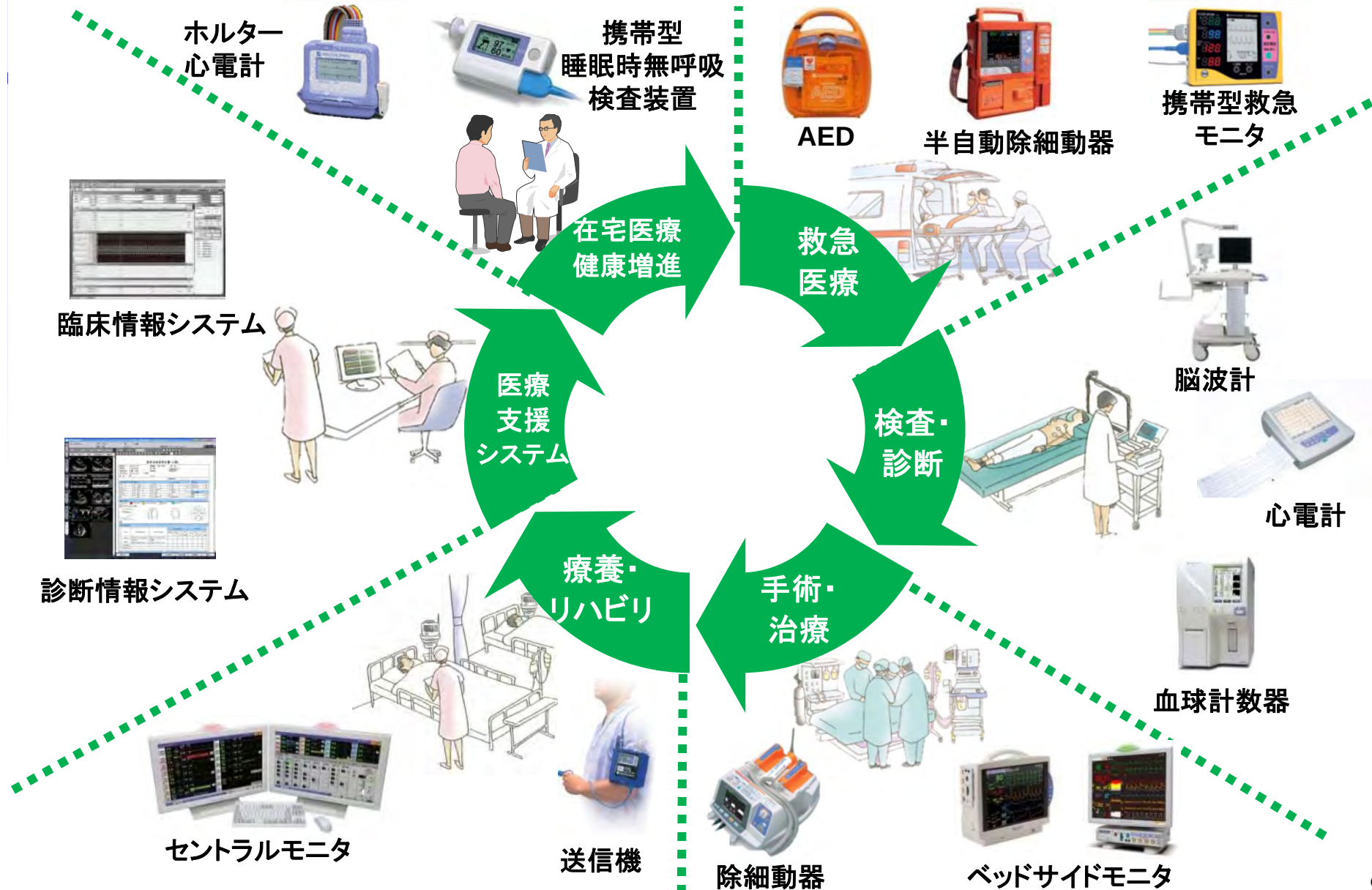
1974年 **世界で初めて**「パルスオキシメータ」の原理を開発

「パルスオキシメータ」は、採血することなく、**指にセンサを着けるだけで**、正常な呼吸により血液中に酸素が十分取り込まれているかを測定できる機器です



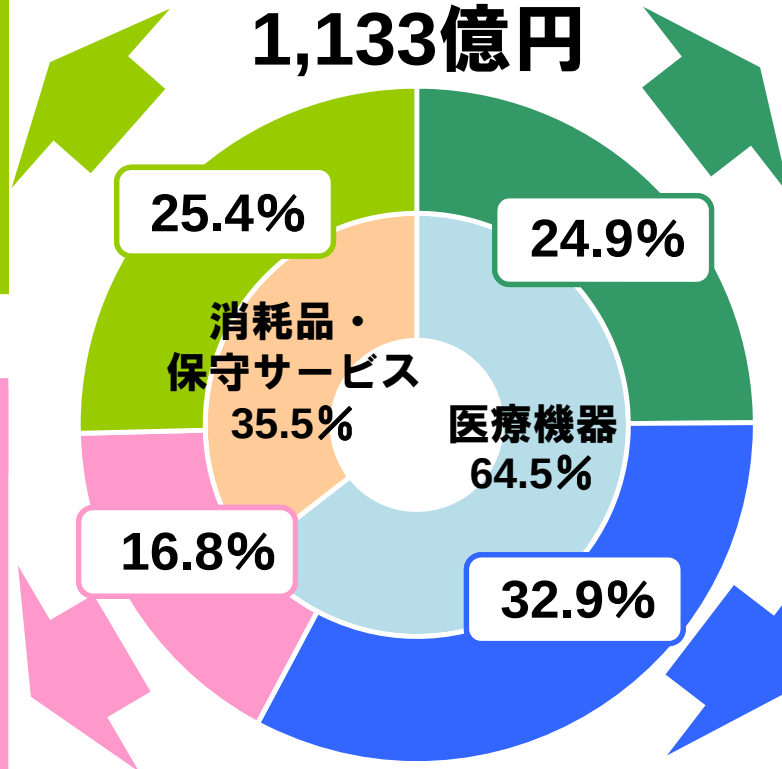
医療現場で世界標準として
幅広く使用されています

医療の流れに沿ってトータルサポート



商品群別売上構成

売上構成比
(2010年度)
売上高
1,133億円



④その他

血球計数器、超音波診断装置、変成器、消耗品、保守サービスなど



③治療機器

除細動器、AED、心臓ペースメーカ、人工呼吸器、関連の消耗品、保守サービスなど



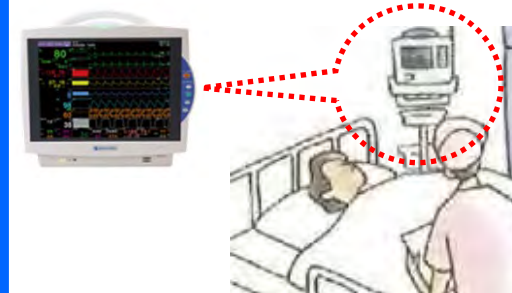
① 生体計測機器

脳波計、心電計、心臓カテーテル検査装置、関連の消耗品、保守サービスなど



② 生体情報モニタ

生体情報モニタ、関連の消耗品、保守サービスなど



機器だけでなく、消耗品も自社展開

- 製品納入後も、関連の消耗品が安定した収益基盤に
- 設置台数で高いシェアを確保することが、成長のキーポイント

心電計



+



クリーム

電極

生体情報モニタ



+



SpO₂センサ

血球計数器



+



試薬

主要商品の国内シェア

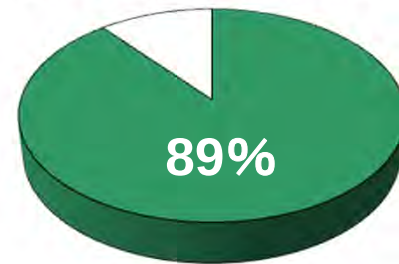
国内市場で高いシェアを獲得

生体計測機器



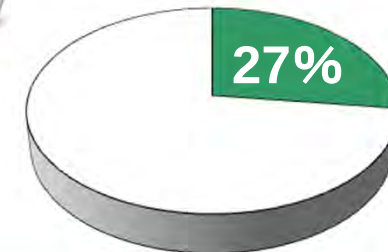
脳波計

(市場規模: 18億円)



心電計

(市場規模: 100億円)

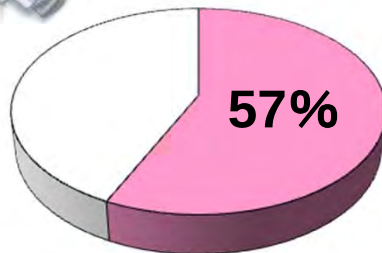


治療機器



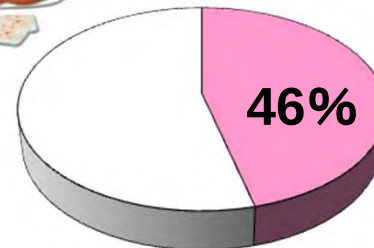
除細動器

(病院・救急車向け)



AED

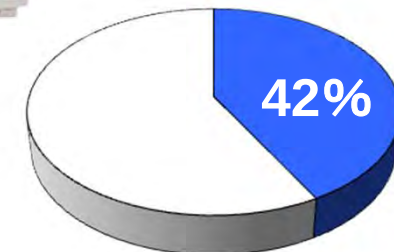
(市場規模:
130億円※)
※AED含む



生体情報モニタ



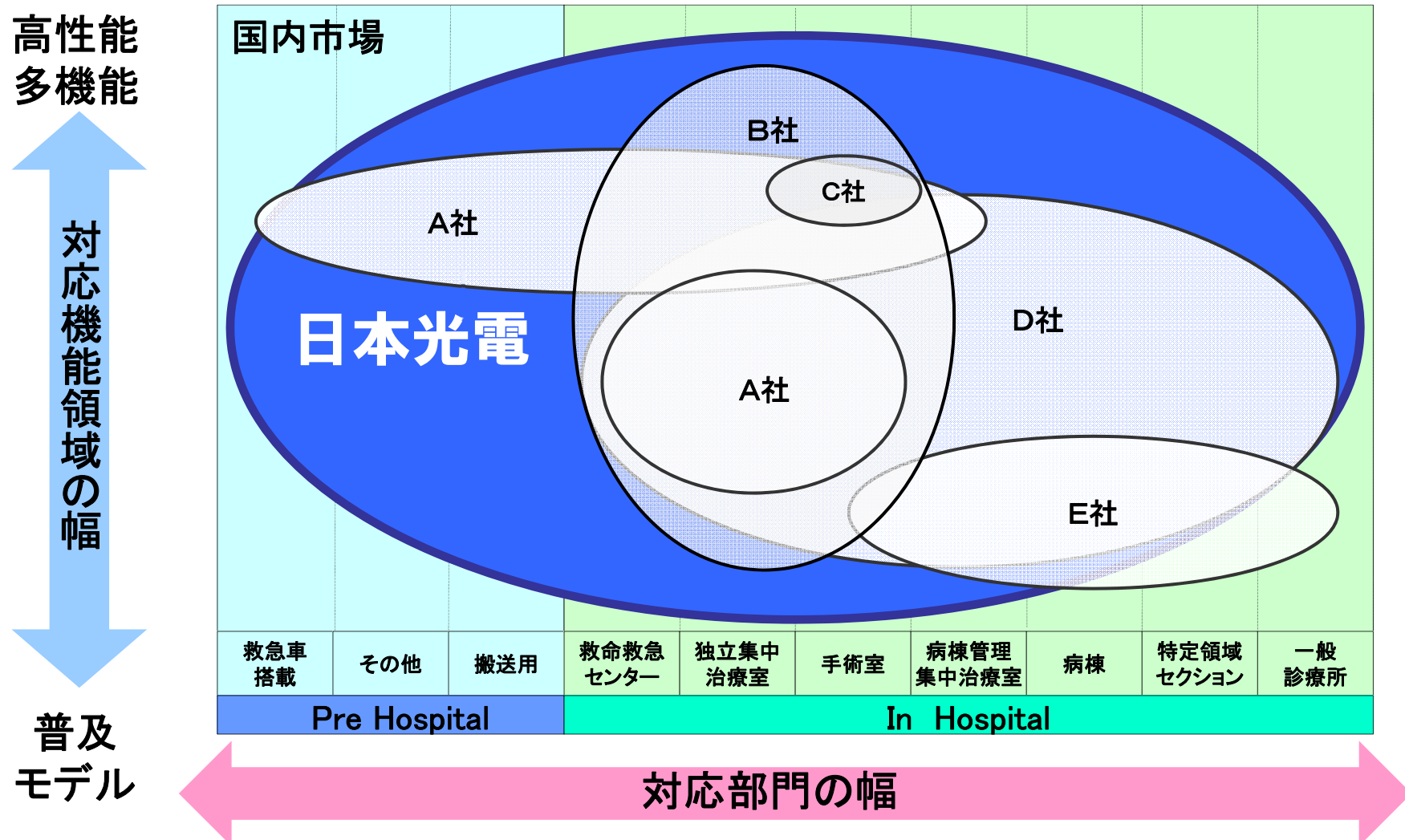
(市場規模: 250億円)



資料は矢野経済研究所調べ(2009年 単年度) シェアは生体情報モニタのみ金額ベース。他は全て台数ベース。

主力事業「生体情報モニタ」の強み

幅広い商品ラインアップを提供



国内唯一のAEDメーカー

AEDの普及に努めています

Automated
External
Defibrillator



2004年7月から一般市民も
使用できるようになり、様々な
施設への導入が進んでいます。

♥ 東京マラソンをAEDでサポート



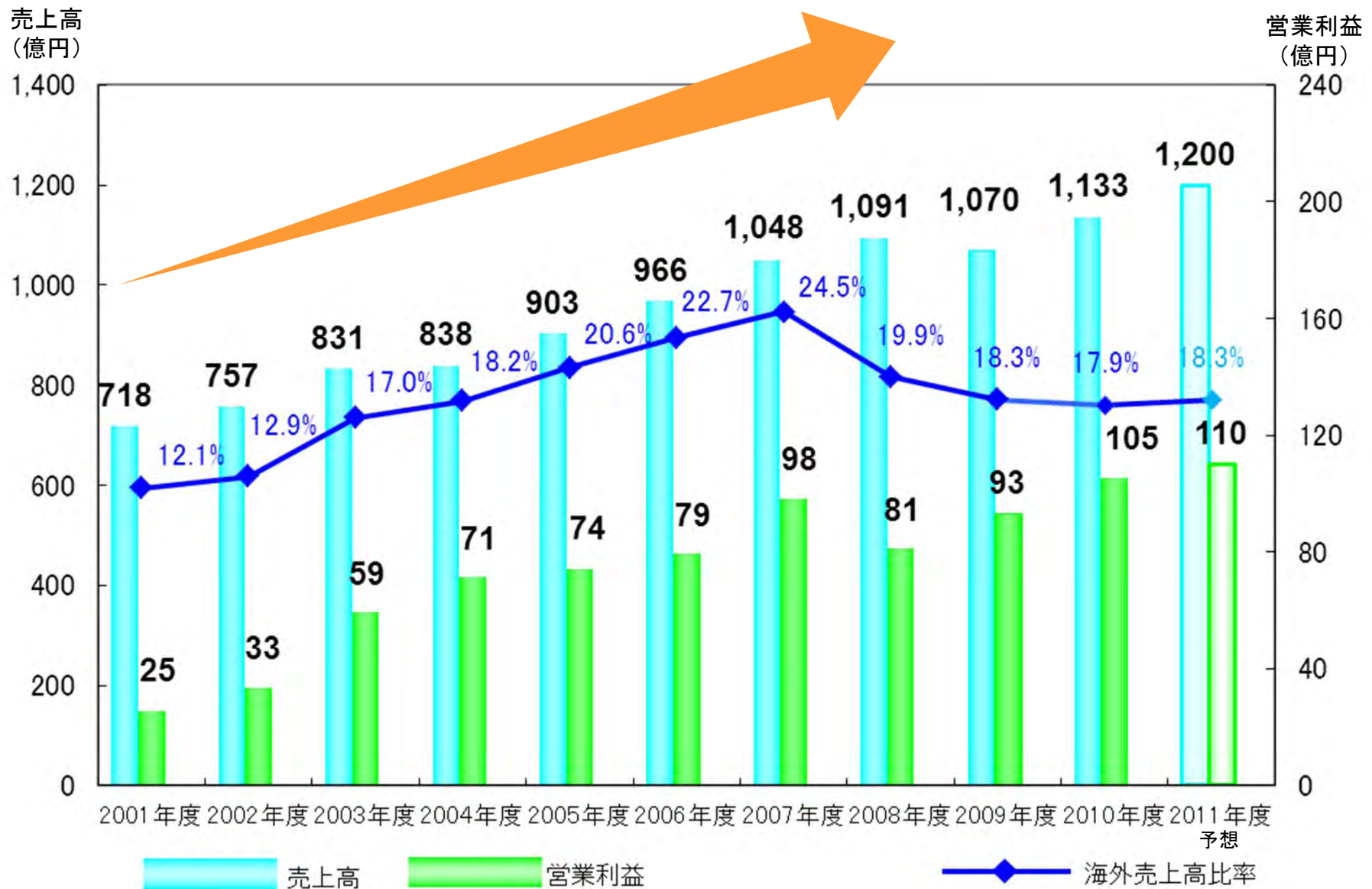
『AED街角の奇跡―
「勇気」が救った命の物語』
島崎修次 監修/田中秀治 編
ダイヤモンド・ビジネス企画 著
ダイヤモンド社 発売

駅や公共施設でよく見かけるように
なったAED。
誰かの勇気が、助からなかったはずの
『いのち』を救うことがあります。
本書は、AEDによってもたらされた
数々の奇跡のエピソードを集めました。

♥ 全国でAED講習会 を実施



業績推移



2 長期ビジョンと中期経営計画

- 長期ビジョン
- 3カ年中期経営計画

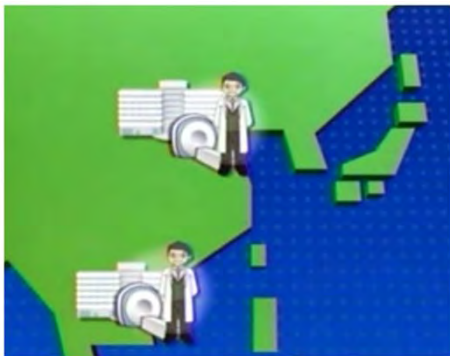
注目されるヘルスケア市場

政府の「新成長戦略」

日本の強みを活かした成長

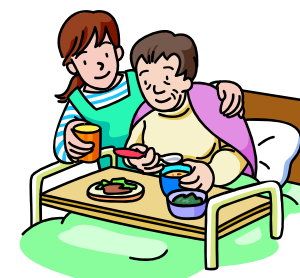
ライフ・イノベーションによる健康大国戦略

病院輸出プロジェクト



- ・日本人の医師や看護師を派遣
- ・日本の医療機器を提供

医療・介護分野での雇用創出



目標数値

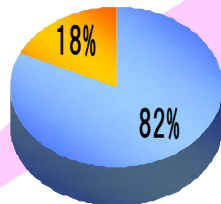
長期ビジョン (2010/4～2020/3)

The CHANGE 2020
–The Global Leader of Medical Solutions–

中期経営計画

(2010/4～2013/3)

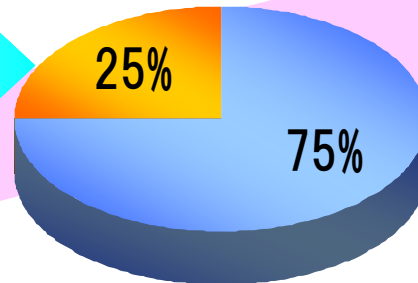
SPEED UP III



2010年3月期実績

売上高 1,070億円

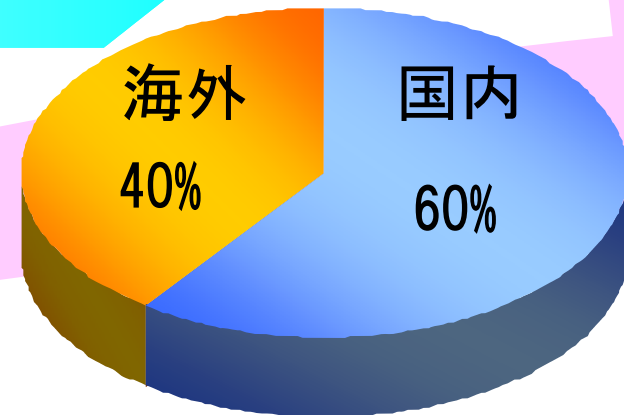
営業利益 93億円



2013年3月期

売上高 1,300億円

営業利益 130億円



2020年3月期

売上高 2,000億円以上

営業利益 250億円以上

長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン

1. 世界初の革新的技術の確立
2. 世界最高品質の確立
3. グローバルシェアNo. 1の獲得

中期経営計画 重要課題

1. 品質向上活動の推進
2. 技術開発力の強化
3. コア（主力）事業の拡大・強化
4. グローバル化の加速
5. 新規事業の創造
6. 企業体質の強化

3 今後の成長戦略

日米における医療安全の取り組み

米国

**医療ミスが多く、効率的な
「医療の質の向上」が急務**

米国の病院で毎年約10万人が医療ミスで死亡

**10万人 ライブ・キャンペーン
(10万人の命を救え)**



日本

**医療安全を目指す日本版10万人
キャンペーンがスタート**



医療安全全国共同行動

いのちをまもるパートナーズ

キャンペーンの達成目標

参加登録病院

→ 3,000病院以上

有害事象件数の低減

→ 30万件以上

入院死亡数の低減

→ 1万人以上



日本：医療安全に寄与する商品の提供

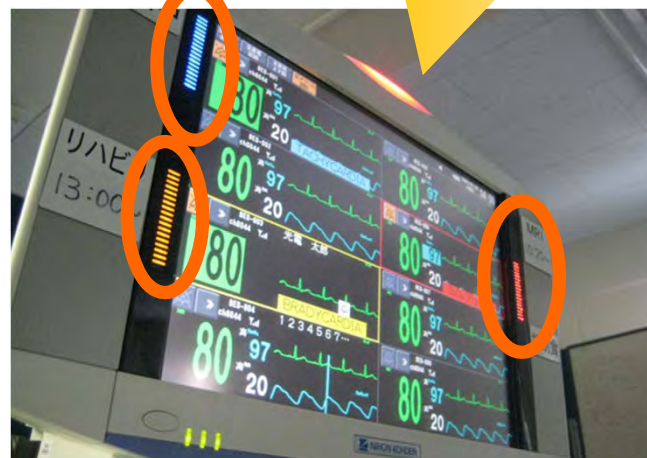
「鳴り過ぎない」アラーム 「見やすい」アラーム

課題：アラームの聞き逃し事故多発

電極のズレや
外来雑音の混入など
による誤アラームを
大幅に低減



緊急度に応じて
色分け



患者さんの居場所を モニタで確認できる機能

課題：容態が悪化した患者さんの居場所がわからない



米国：医療安全に寄与する商品の提供

Prefense™の普及

医療費を抑えるため、手術後の患者を、看護が手厚い重症病棟から短期間で一般病棟に移動

課題：看護が手薄な一般病棟では、患者さんの急変に気付かず、医療ミスが多発

Prefense™

一般病棟での医療ミスを防ぐためのモニタリング

2008年5月発売

40台の送信機NTXと連携し、
効率的な看護が可能な、
新しいコンセプトの
集中モニタリングシステム。



心電図、呼吸、SpO2の他、
世界で唯一、非観血血圧の
測定・送信が可能。

米国：顧客満足度No.1

米国の医療機関は、当社の品質・サービスを高く評価

生体情報モニタ

20四半期連続で
顧客満足度No.1を獲得

- | | | |
|----|-------------|-----|
| 1. | 日本光電 | 9.7 |
| 2. | A社 | 9.6 |



(2011年10月～12月 MD Buyline調査。10点満点、対象企業数9)

脳波計

長時間てんかんモニタリングで
顧客満足度No.1を獲得

- | | | |
|----|-------------|-----|
| 1. | 日本光電 | 9.2 |
| 2. | B社 | 8.9 |
| 2. | C社 | 8.9 |



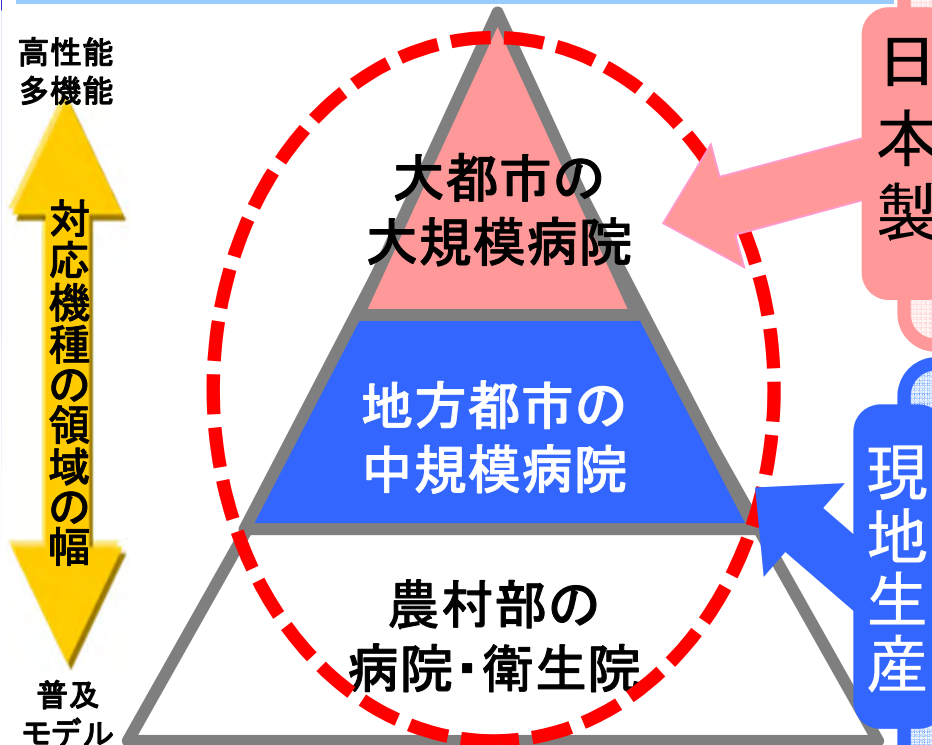
(2011年10月～12月 MD Buyline調査。10点満点、対象企業数3)

【MD Buyline社】

米国のヘルスケア関連の市場調査会社。ヘルスケア関連施設に対して設備購入時の意志決定の支援を行う。

中国：商品ラインアップの拡充・販売強化

市場別商品ラインアップの拡充



競争力のある日本製品の拡充

日本製

脳神経系群

生体情報モニタ



除細動器

心電計群



心電計

血球計数器



5分類測定

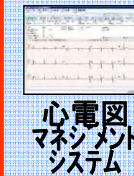
現地生産



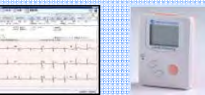
セントラルモニタ



ベッドサイドモニタ



心電図
マネジメント
システム



ホルター
心電計



心電計



試薬



3分類測定

普及タイプの現地生産品の拡充

販売の強化

・内陸部に営業所新設

2011年7月

西安

2011年9月

成都

2012年1月

瀋陽

・医師との
関係強化



2011年
4月

米国の先生を招いて
筋電図の勉強会を
開催



中国の筋電学会、
リハビリ学会、
睡眠学会での
人脈づくり

新興国：販売網拡大・主要国に注力

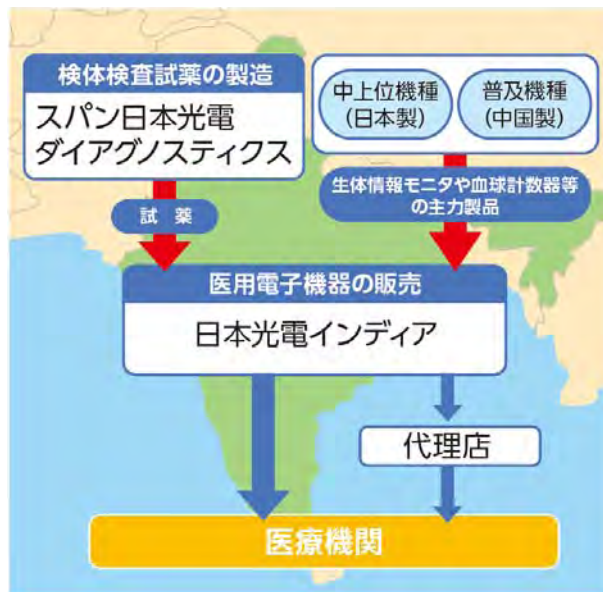
販売網の拡大



インドに販売拠点設立

2011年
3月

- ・2011年6月から営業開始
- ・地域別、製品別に代理店網を整備



ブラジルに販売拠点設立

2012年
1月

2012年4月から営業開始予定

主要22カ国に注力

(上位22カ国で新興国市場売上の3/4を占める)

主要代理店へのサポート強化

- ・拠点病院への出張サポート
- ・医師との関係強化をサポート



2012年
1月

アラブ首長国連邦
展示会で
代理店向け
セミナー実施



2011年
9月

コロンビア
小児ICU学会で
セミナー実施



まとめ

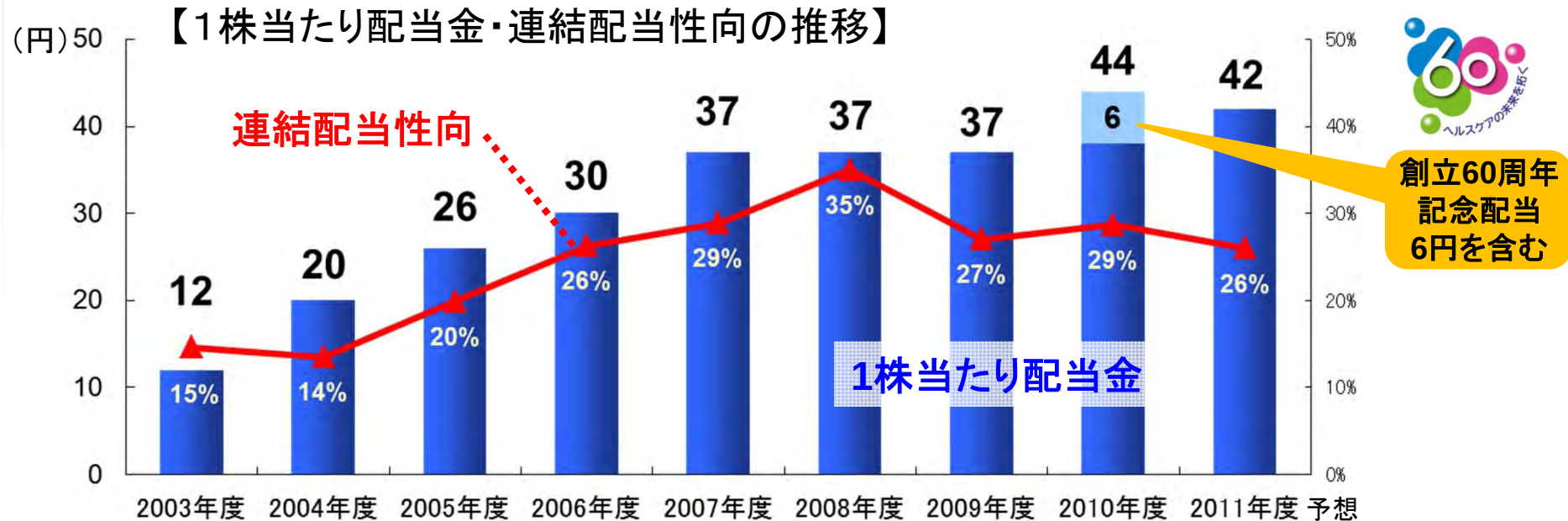
エレクトロニクスで病魔に挑戦する 日本光電

- **基盤技術を活かした特徴ある製品開発**
- **医療安全／効率化に寄与する商品の提供**
- **国内の安定成長と海外の高成長を目指す**

株主様への還元

配当について

企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に配慮しながら、長期に亘って安定的な配当を継続 → **当面の目安：連結配当性向30%**



配当利回り: 2.0%
(2月29日株価 2,084円)

自己株式取得について

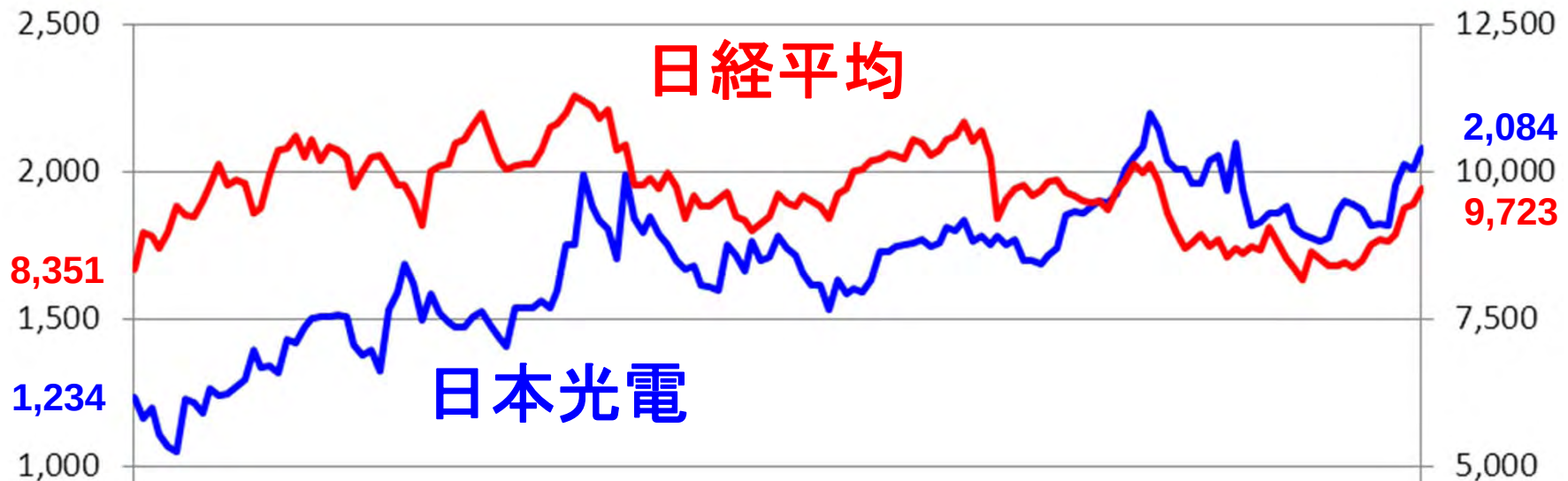
取得実績 2011年3月末現在の自己株式保有: 1,833千株 (持株比率: 4.0%)

株価推移

2009年4月～2012年2月

日本光電
(円)

日経平均
(円)



2011年4月:「日経500」の銘柄に採用
TOP500の仲間入り

0 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 0

CSR(企業の社会的責任)への取り組み

経営理念の実践＝CSR活動

社会の課題(**病魔の克服と健康増進**)に向き合い、
企業活動を通じてその解決に貢献する(**先端技術で挑戦し世界に貢献**)

ボランティア活動を バックアップ

骨髄移植や災害ボランティアの
休暇制度など、社員のボランティア活動をバックアップ



ドクターヘリ・防災ヘリの 場外離着陸場

- ・富岡第二工場が、ドクターヘリや防災ヘリの場外離着陸場に指定
- ・地域の救急医療に貢献



ホームページのご案内

当社ホームページを是非ご覧ください。

日本光電

検索

〈IR情報〉

<http://www.nihonkohden.co.jp/ir/>



〈AED情報〉

<http://www.aed-life.com>



〈テレビ・映画で活躍する日本光電製品〉

<http://www.nihonkohden.co.jp/ippan/media.html>



この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

日本光電工業株式会社 経営企画室
TEL: 03-5996-8000(代表)